

西荻窪町会防災会だより

1号

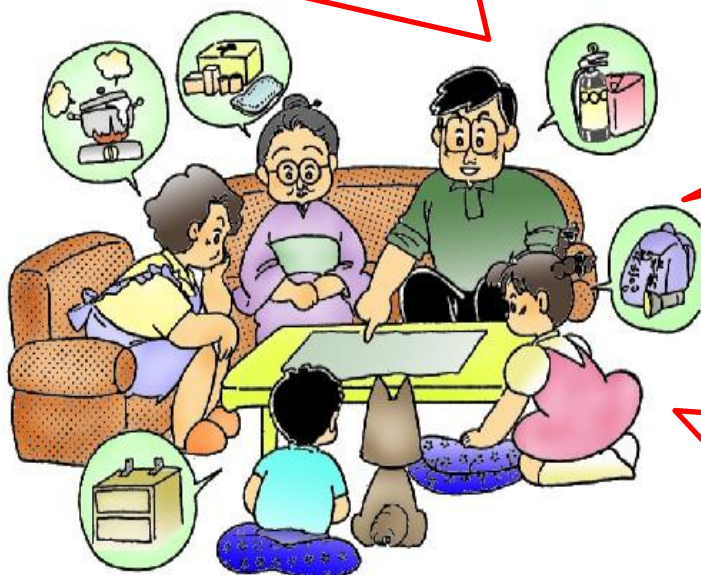
平成24年9月
西荻窪町会防災会発行

大きな災害が起こったとき、被害は広範囲に及び、消防の到着は困難になってきます。西荻窪町会防災会ではそういった状況を前提に、住民の手で被害を最小限にとどめることを目的として、発災対応型訓練を行なっていくことにいたしました。その取り掛かりとして、平成24年8月11日、西荻窪町会役員会に引き続き西荻窪町会防災会会議を開きました。荻窪消防署の職員の方に、日常の備えや、発災時の行動について教えていただきました。その情報を町内のみなさまへお知らせすることで、情報の共有ができればと考えています。

●日常生活の中で各自が備えられることは・・・

●日頃から配布資料（地震に備える/東京消防庁発行など）に目を通して個人で知識を身につけましょう。

●緊急地震速報が来てから約30秒以内に地震の揺れが起きます。その30秒間で何をするか、自分でシミュレーションをしておきましょう！



「自宅の近くの、街頭消火器はどこにある？」
「防災倉庫はどこにある？」

こういった質問をお互いに出し合うことも、訓練になります。

荻窪消防署のおすすめ！【非常持ち出し袋に入れておくといい品物】

現金、保険証、手袋、靴下、防寒着、雨具、水、水筒、(あれば)常備薬、予備の靴、懐中電灯、爪切り(コンパクトで、カッター代わりにもなる)、ラジオなど

“その時”取るべき行動は？

●自分の行動をシミュレーションしましょう！

- ① 自分の身は自分で守る！ 揺れが強い場合は動かない。イザという時、どこに身を隠せばいいか、普段から確認しておくこと。トイレやお風呂は小さい空間に柱があるため比較的安全。揺れが収まるのを待つ。
- ② 電気のブレーカーを落とす。
- ③ 外に出られる経路を、少なくとも2つ以上確保する。玄関だけでなく、掃き出し窓、ベランダなど。
- ④ 非常持ち出し袋を持って外に出る。しかし、自分は1階にいて非常持ち出し袋は3階にある、と言った場合は、ひとまず持たずに出る。
- ⑤ 必ず靴を履いて外に出る。
- ⑥ 震災救援所（区立の小・中学校）へ向かう。

●西荻窪町会役員の“その時”は？

- ① 自宅を出たら、町内の高齢者や障害のある方の安否確認に向かう。避難の呼びかけをする。
- ② 役員は公園・神社・寺などに避難誘導を行う。
※あらかじめ集結する場所を決めておく。誘導された人が何人いるか、逃げ遅れた人はいないか、町会名簿を中心に人数の確認をする。
- ③ D級ポンプや消火器、スタンドパイプなどを使い、火災発生・延焼をできる限り防ぐ。
出火を放置すると延焼が広がる！！ 早く消すことが大事！！

町会役員は、地域の方々と力を合わせて動けるよう努めていきたいと思っています。

みな様との連携も大事になります。よろしくお願いいたします！



消火訓練に参加して・・・マンホールの蓋や、器具ひとつひとつの重さに驚きました！ 日ごろから鍛えておかないといけないなあと思いました

＜西荻窪町会防災会活動報告＞

5月16日（水）西荻南3丁目にて、スタンドパイプや消火器を使用した消火訓練を実施

8月5日（日）・8日（水）・13日（月）神明中学校震災訓練所防災倉庫内の点検

8月11日（土）西荻窪町会防災会会議

8月19日（日）西荻南3丁目児童公園・神明通りにてD級ポンプ・スタンドパイプを使用した放水訓練実施

★西荻窪町会防災会では発災対応型防災訓練や、消火器、ポンプ、ホースなどの器具を各自が操作できるよう訓練を行っていきます。町内のみならずも奮ってご参加ください。★随時活動をお知らせしていく予定です。ご意見などありましたらお寄せください。

西荻窪町会防災会 担当：北あきのり